

アンケート調査結果報告
 (播磨町地域福祉計画策定に向けて)

誰もが住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らせるよう、地域に関わる様々な人が協働して地域の支えあいの仕組みをつくり、計画的に取り組みを進めていくために令和4年度から2カ年かけて「地域福祉計画」を策定します。その策定にあたり、住民の皆さまの意見や要望などを把握し、計画へ反映するため、アンケート調査を実施しました。

播磨町在住の18歳以上の人から無作為に抽出した1,000人に送付し、467人の方から回答をいただきました。多くの方のご協力をいただき、ありがとうございます。その結果について、一部抜粋して「報告」します。

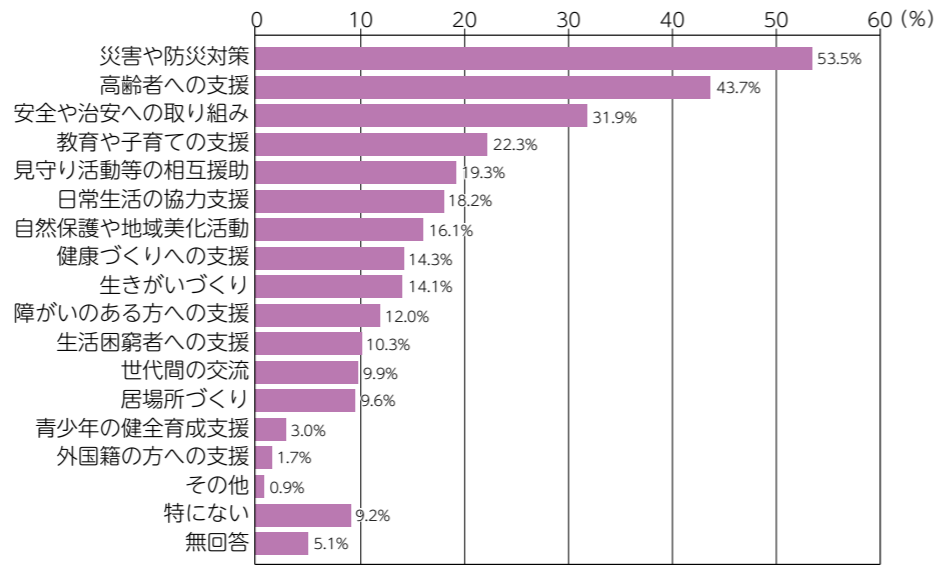
「町政モニター事業」以外にも、自治会及び社会福祉協議会などの各団体の人を対象としたアンケートや、民生委員・児童委員を対象としたアンケートをそれぞれ実施し、たくさんの方の回答やご意見をいただきました。誠にありがとうございました。

アンケートについての問い合わせ

健康福祉課地域福祉係 ☎079-435-0311

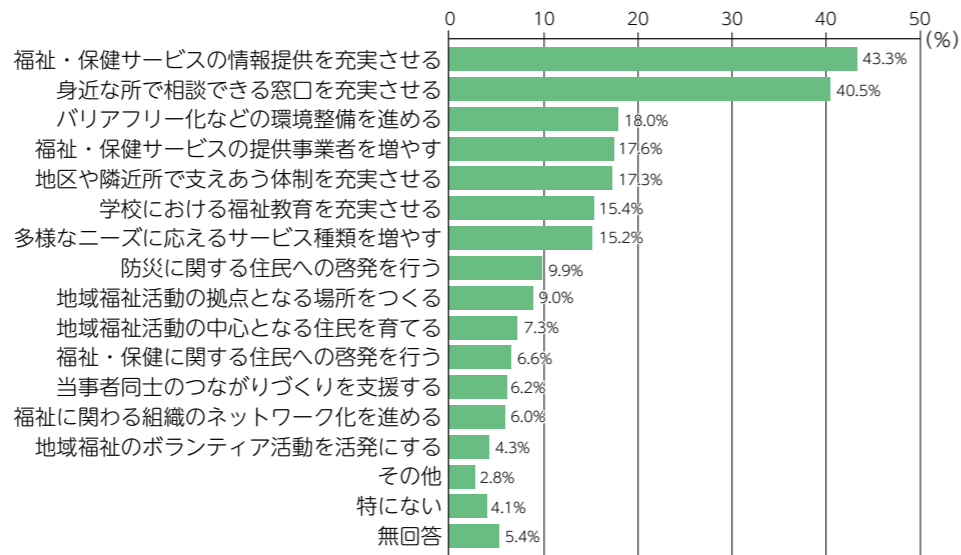
○あなたが地域で必要だと思う役割や活動はどのようなことだと考えますか。

地域で必要だと思う役割や活動では「災害や防災対策」が53.5%と最も高く、次いで「高齢者への支援」が43.7%となっています。地域のつながりの必要性を感じている人が多いことが分かります。



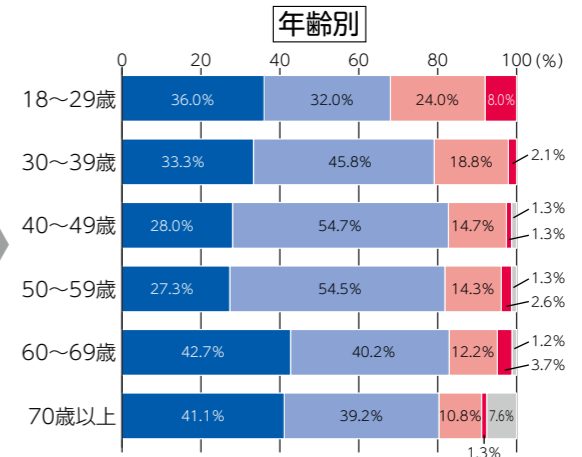
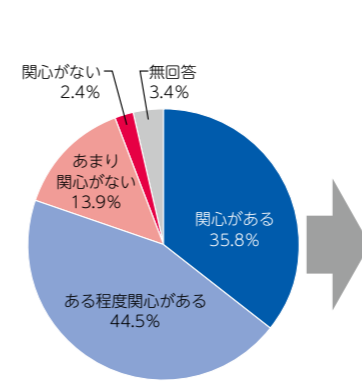
○福祉のまちづくりのために、優先して取り組むべきことはどのようなことだと考えますか。

福祉のまちづくりのために優先して取り組むべきことは、「福祉・保健サービスの情報提供を充実させる」が43.3%と最も高く、次いで「身近な所で相談できる窓口を充実させる」が40.5%となっており、情報提供や相談窓口の充実に関心が集まっています。



○あなたは「福祉」に関心がありますか。

「福祉」に関心がある人は全体では80.3%と高いものの、年齢別にみると18～29歳では70%未満、30～39歳では80%未満となっています。



2月11日(土・祝)にワークショップを実施しました



計画策定に様々な意見を反映させるため、住民を中心としたワークショップ「ふわっとふくしにふお～かすしたワークショップ～これからの播磨町の福祉についてみんなで考えよう!～」を開催し、61人の参加がありました。10グループに分かれ、現状の課題や目指したい状態、それを実現するための取り組みやアイデアなどを話し合い、発表しました。



○あなたが地域で手助けしてほしいこと・手助けできることはありますか。

「災害時の手助け」や「安否確認の声かけ」、「買い物の手伝い」などが、手助けしてほしいこと・手助けできることで、ともに高い割合となっています。

